



くるま はどうしてはいきだ 車をどうして排気ガスを出すの

ガソリンを燃やすと出る排気ガス

エンジンなどからはきだされるガスを、排気ガス(排ガスともいう)といいます。車は、ガソリンを燃料にして走ります。つまり、ガソリンをエンジンの中で燃やしながら、走っているのです。

物を燃やすと、必ずけむりやすすが出てくるように、ガソリンを燃やしても、これと同じことが起こります。つまり、ガソリンを燃やすと、必ず燃えたあとのガスが出てくるのです。これが、車の排気ガスとよばれるものです。この車の排気ガスには、二酸化炭素などいろいろなものがまじっていて、これが空気をよごすもととなっているのです。

くるま がふえるとおこるたいきおせん 車がふえるとおこる大気汚染

世界の先進国では、だれもが車を手に入れ、乗り回すようになり、車の数がどんどんふえています。車がふえると、排気ガスもふえ、大気汚染をひきおこします。また、排気ガスにふくまれる物質が、強い太陽光線をうけると、光化学スモッグが発生し、目やのどを激しくしげきします。このように排気ガスは、人体に悪い影響をあたえます。そこで、排気ガスの中にふくまれる、空気をよごすものを少なくするために、さまざまなくふうがされています。(監修・青木 国夫)

